



御本尊 聖観世音菩薩



### 萬霊塔

昭和 40 年 3 月万物の靈魂を供養する為に建立された。石塔は下土狩区西 1 号古墳より出土したもので、奈良朝前期(今より凡そ 1,200 年～1,300 年以前)の遺跡である。

### 黄檗宗とは

中国・明代末の高僧・隠元禪師(1592～1673)が、江戸時代初期(1654)に来日。徳川 4 代将軍・家綱より山城国宇治(京都)に寺領を賜わり、黄檗山萬福寺を創建して開宗した。隠元禪師は明代末の中国における臨済系統の禪宗の重鎮であったが、日本では臨済宗を名のらず黄檗宗を名のった。教えの特徴として、人間が生まれながらにして持っている仏心を、坐禅行を行なうことによって、自らの力で見出し、仏陀と同様の境界を体得させようとするもので、日常生活における一挙手一投足をして、仏陀の世界へ近づけようとする精進(努力)それが大切なのだ説く。臨済宗の宗風に明代の念仏禅を加えた隠元禪師の教えは、往生浄土や念仏などの浄土教教義をあわせて説いて、念禅一致をはかる一方で、真言陀羅尼などの密教的要素も加味している。また、漢文ではなく、本場の唐韻による誦経は、その独特の節回りで、「黄檗の梵唄」として有名なものである。



### 水月堂と称す

二重屋根の威厳をもつ本堂は昭和 52 年(1976)当山第 11 代承範禪師が創建され、大本山より中興の称号を与えられた。本尊は聖観世音菩薩で、なお虚空蔵菩薩弁才天を安置する。



### 開槌(かいばん)

時を報せる法具。木魚の原型といわれる。



### 八幡神像 町指定文化財

八幡神は古くは長久保城の守護神で、八幡曲輪に祀られていたが、慶長 18 年(1613)廃城になると祭祀もとだえていたのを、香州禪師が寺を創建する時に村人が寺域に祭祀をお願いしたという。以来ここに鎮座する。高さ 23 cm、木造乾漆彩色塗金の座像。

作者、製作年代は不明。

# 西願寺

黄檗宗

**西願寺由来** 禅宗三派（曹洞宗、臨濟宗、黄檗宗）の一つであり、1654年に来日された中国僧隠元禅師によって創建された京都府宇治市にある黄檗山萬福寺を本山とする。名僧の一人「一切経」の木版を苦作された鉄眼禅師の兄弟子で、治山治水に功績を残された鉄牛禅師を開山とする。貞享3年（1686）12月鉄牛禅師の法嗣香州禅師がその志を継ぎ、愛鷹山麓の台地にあって長久保城跡とは百沢溪谷を隔てて相対する形勝の地に当寺を創建された。以来7代まで師資継承したが、天保8年以来無住になり嘉永2年（1849）9月本山管長の特命により有隣禅師が晋山し、当寺8代となり庫裡本堂、鎮守八幡社を再建中興して現在にいたる。戦後寺録五町歩余全面開放した。



## 永代供養塔

西願寺では平成20年（2008）境内墓地内に永代供養塔を設置いたしました。永代供養塔は西願寺が永代に亘り責任を持って供養管理するお墓です。その為に継承者がいなくても無縁墓になる事はありませんし、個人で、ご夫婦で、ご利用いただけます。

〒411-0934

静岡県駿東郡長泉町下長窪 386

さいがんじ

**長窪山 西願寺**

Tel055-986-1411

Fax055-986-1413

<http://www.saigan-ji.jp/>



## 交通のご案内

- ◆ JR 新幹線三島駅より車で15分
- ◆ 東名高速沼津ICより車で5分
- ◆ JR 御殿場線なめり駅より車で5分